

63年



明るい笑いのコーラスが聞こえてくる。

(みたから保育所にて)

## この笑顔を たいせつに

一月十二日から、市立保育所の園児募集が始まるが、現在、鳥取市には十六の市立保育所と、私立三方所の保育園があり、合わせて一、五二〇人の子どもたちが通園しており、どの保育園にもぎやかな子どもたちの声ではち切れている。

寒い雪の日でも、真赤な小さい丸い手に雪を握り走りまわっている子、口をとがらせて自分を主張し合っている子、宇宙旅行の絵本に目をかがやかせている子、あの子もこの子も毎日が真剣そのものだ。つぶらなひとみをおどくと、それぞれに大きな未来がいつぱいつまっている。

子どもはいつの時代でも無限の価値を持つ宝であり、この子宝に無限の可能性を期待するのも変りない社会のねがいでもある。だが、この宝も磨きかたで、あたたかい光りをもつ宝にも、つめたい光りをはなつ宝にもなる。子どもの時の顔は親がつくるともいわれるがこの笑顔をみんな大切にしてやりたい。



# 輝かしい1968年を迎えて 新春をおよろこび申し上げます

鳥取市長 高田 勇



市民の皆さん、明けましておめでとございます。輝やかしい昭和四十三年の新春を迎え、市民の皆様のご多幸とご健康を心からお祈りし、謹しんで新年のお喜びを申し上げます。

さて、昨年は経済の好転に加え、農作物も戦後最高の収穫と相成

鳥取市議会議長



輝かしい昭和四十三年の新春を迎えるにあたり、市民皆様のご多幸を心からお祈りし、謹しんで新年のお喜びを申し上げます。

願ひますと、昨年は本市にとりましては、まさに躍進の年であったように存するのであります。数多くの誘致産業は着実に歩みを進

尾坂 雅人

り、明るい新年を迎えることのできましたことは、何よりのこととご同慶にたえないところでございます。わたくし二月に行なわれました市長選挙に際しましては、皆様のおたたくいご厚情とご支援をいただき、三たび鳥取市長の職につくことに相成りました。微力ではありましたが、過去八年の体験と実績をもとに公約いたしました「健康都市、谷間のない市政、生産都市の建設」の三本の柱に枝をつけ、花を咲かせて、住みよい明るいまちづくりと市民の幸福と繁栄に、更に更に精魂を尽して参りたいものと固く期している次第で

め、また待望久しかった文化の殿堂市民会館ははなばなしい発足を遂げ、健康都市のシンボルともいえる総合グラウンドは、千代川河川敷のスポーツ広場とともに着工の運びとなりました。

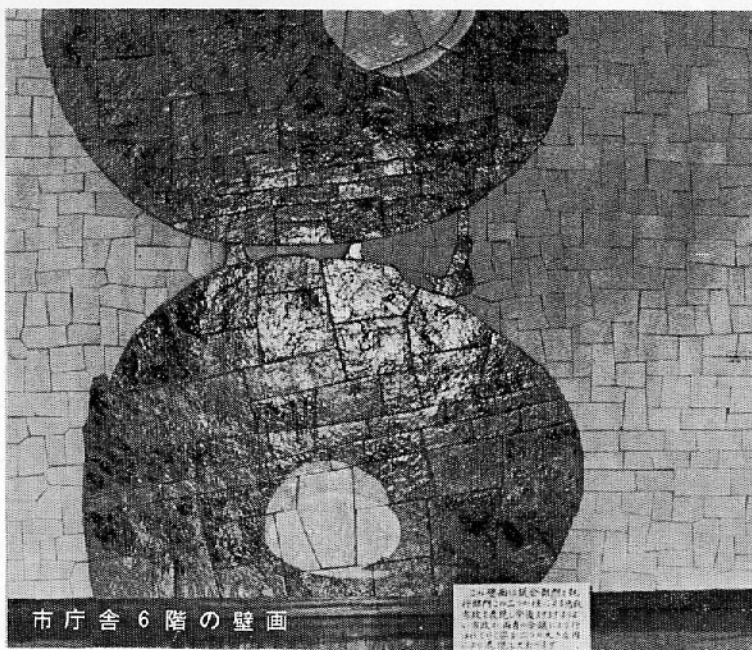
さらに本市将来の飛躍的發展を期するための鳥取駅高架化も、駅前都市改造と合わせて、全市民の力強いご支援のもとに、実現を目指して、活発な運動を展開するにいたしました。砂丘の観光開発、県立文化センターの設置といずれも近代都市建設への努力が結果されつつあることは、まことにご同慶にたえないところでござい

でございます。

賢明なる市民各位のおたたくいご理解とご支援をいただき、本市発展のため一丸となって、若々しい近代生産都市の建設にまい進したいものと念願するものでござい

ます。

新しい年の始めにあたり、重ねて皆様のご多幸とご健康を祈念いたしましてごあいさついたします。



市庁舎 6 階の壁画

この壁画は、議決部門と執行部門の密接な結びつきの表現。

ます。

わたしたちはこれらの問題と真剣に取り組みながら、新しい年が市民福祉の向上と明るい健康な郷土の建設のために、真に意義のある年となりますことを願ひいたす

ものであります。

なにとぞ一層のご鞭撻とご協力をお願い申し上げますとともに、重ねて皆様のご多幸をお祈りして新年のごあいさついたします。

# 盛大に祝賀会

生存叙勲者の九氏を招き

市、市議会、商工会議所および市社会福祉協議会が主催して本市関係の秋の叙勲者九氏を招き、十二月七日、午前十一時から農協会受賞された方々

- |          |              |        |
|----------|--------------|--------|
| 勲五等双光旭日章 | 草野 恵氏 (八三歳)  | 中町     |
| 勲五等双光旭日章 | 山家 太郎氏 (七一歳) | 二階町一丁目 |
| 勲五等双光旭日章 | 米村 信一氏 (七一歳) | 川端二丁目  |
| 勲五等瑞宝章   | 竹本 正春氏 (七三歳) | 久末     |
| 勲五等瑞宝章   | 朝倉 君代氏 (五九歳) | 吉成     |
| 勲六等单光旭日章 | 米沢 安吉氏 (七八歳) | 茶町     |
| 勲六等单光旭日章 | 中村 七男氏 (七四歳) | 戎町     |
| 勲七等青色桐葉章 | 段田 清八氏 (六六歳) | 賀露     |
| 勲七等青色桐葉章 | 生田 友好氏 (五六歳) | 西品治    |



## 市議会だより

十二月定例市議会は、十二月十四日から二十三日までの十日間開かれました。そして、一般会計補正予算ほか七件の議案が提出され、審議可決されました。

提案されたおもな議案

- ▽昭和四十二年鳥取市一般会計補正予算
- ▽昭和四十二年鳥取市土地区画整理費特別会計補正予算
- ▽鳥取市議会の議員等の公務災害補償に関する条例の制定について
- ▽鳥取市官住宅管理条例の一部改正について
- ▽鳥取市消防団員等の公務災害補償条例の一部改正について
- ▽鳥取市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部改正について
- ▽鳥取市職員公務災害補償条例の廃止について
- ▽鳥取市上水道第六回拡張事業の実施について

なお、十一月二十七日の臨時市議会では、湖山団地の改良住宅新築および薬研堀ポンプ場の新設にともなう工事請負契約の締結、また、四十一年度一般会計、各特別会計の決算認定について審議され、可決ならびに承認されました。

## この土地に愛着と期待

鳥取市

先日、市の施設見学に参加させていただきました。ありがとうございます。私は、大阪からこちらに転入してきましたが、鳥取がどんなところか知らず、また、鳥取県という土地にあまりよい印象をもっておりませんでした。

ところが、この施設見学会に参加させていただき、いろいろなところを見、説明をお聞きするうちに、だんだんこの土地に愛着がもてるようになりま

した。

大阪と比べては、とてもその貧困さに耳をふさぎ、目を閉じたくなるような気持ちでした。しかし、耳を傾け目を開くと、鳥取が今まさに伸びようとしているんだなあ...ということが良く判り、安心もし、期待もしております。

今後ともどうぞこのような有意義な会を催し、いろいろ勉強ができるようご努力くださいますようお願いいたします。

願ひ申し上げます。

今一つお願いがございます。市が主催でコーラス、茶道、生花その他いろいろな教室を主婦のために開いていただけたらと思います。今すぐには無理ですが、機会がございましたらご考察ください。ますようお願いいたします。

(吉方 三洋社宅 中浴和子)

お答え

施設めぐりに参加いただきありがとうございます。係ではできるだけ多くの市民の方々に、伸びゆく鳥取市の姿をじかにはだでたしかめていただくべく鋭意努力しておりますが、今後もいろいろなコースの施設めぐりを考え続けていく計画です。

なお、お問い合わせの婦人の勉強室については、婦人学級、家庭教育学級、生活学校などがあり、婦人の資質向上に大きく役立っております。お気軽に市教委社会教育課(電話〇八一—一—内線三二〇)へお問い合わせください。

(庶務課・社会教育課)

## 市民会館だより

会館一周年記念行事

市民会館は、昨年一年間に三百八回、約二十三万人の方々にご利用いただきましたが、さらに一層親しんでいただくとともに、鳥取市の文化向上に一段と役立てようと、ことしから市民会館独自の催し物を計画しました。とくに今月は開館一周年をむかえ、記念行事として、鳥取市文化団体協議会の協力をいただき、美術展、舞踊、邦楽などで市民みなさんに楽しんでいただくようにしております。お気軽にご来館ください。

なお、会館では秋には市民芸術祭なども計画しています。

おもな行事(予定)

- 十二月(金)十五日(月) 美術展
- 十二月(土) 川柳、書の市民会館開館一周年記念事業
- 十二月(土) 日本舞踊
- 十二月(土) 若柳、花柳、藤間、阪東業
- 十二月(日) 邦楽演奏 (鳥取市邦楽協会)
- 十二月(月) 成人式関係者
- 十二月(土) 市職員家族慰安会 関係者
- 十二月(日) 東芝電器商品愛用者招待大会 (クレージ・キャッツ)
- 十二月(土) 招待券 (寄席公演) 会費制

# 文芸作品を募集

受け付け 一月三十一日まで

市民の文化性と情操の向上をはかろうと、市民文芸作品コンクール出品作品を募集しています。多数ご応募ください。

## 1 応募規定

(1)部門 俳句 一人五句以内  
短歌 一人三首以内  
川柳 一人五句以内

(2)応募原稿は官製ハガキに、部門、住所、氏名、年令を明記すること。

(3)応募資格は、市内に在住、または勤務する者。

(4)原稿は未発表のものに限る。

(5)原稿は返さない。

## 2 応募期限

昭和四十三年一月三十一日まで  
あて先 鳥取市尚徳町一六  
市教育委員会社会教育課

4 発表 昭和四十三年三月

5 表彰

優秀作品には、教育長から賞状と賞品を贈る。

なお、詳しくは市教委社会教育課(電話〇八一—一ノ内線三二〇番)へお問い合わせください

戸籍謄本、抄本など

手数料が変更になりました

このたび、戸籍手数料令が改正され、一月一日から戸籍の謄本、抄本および戸籍簿、除籍簿などの閲覧手数料が、つぎのとおりに改められました。

記

1 戸籍の謄本、抄本の交付手数料

一枚につき 五十円

2 戸籍簿、除籍簿その他届書の閲覧

一戸籍または一件につき 五十円

一月十二日～一月二十五日  
受付期間  
入所を希望する各市立保育所

## 保育所園児を募集

この四月から市立の各保育所に入所を希望される方はつぎの期間にお申し込みください。  
なお、申込用紙はそれぞれ保育所に備えてあります。



## 米穀通帳が新しくなる

通帳は一月十日までに米穀店へお届けください  
一月十三、十四日に一斉に切り替え



## 新入学児童の健康診断

もれなく受けよう

ことし四月小学校に新入学する児童を対象に、つぎの日程で健康診断を行います。  
対象者には、診断予定日までに通知をします  
が、万一通知が届かない場合は、市教委が各小学校へご連絡ください。



おめでとう!!

市職員採用候補者さま

昭和四十三年度の市役所職員採用候補者が、つぎの方々にかまりました。

▲上級事務職

伊藤実千江 山崎寿美雄

▲上級技術職

西村 皓彦 小田 隆夫

▲初級事務職

小倉 和俊 松島 俊郎  
森本 勉 片山 厚子  
杉浦為佐夫 山根 正恵  
中島 憲三 下田都美子

▲初級技術職

渡辺 正美 中谷 清  
林 博明 小原 裕  
林田 裕久

▼保母職

山根すみ子 木村恵美子  
石田 康子 横川 弦子  
岡田 綾子 清水美代子  
木下くに子

1月 診断日(予定)

17日 倉田 末恒

16日 大正 賀露

18日 久松 城北

19日 湖山 稲葉

20日 津島 山

21日 明世 明徳

22日 米里 世紀

23日 神美 富案

2月 検査場所は各小学校です。

## 紙上御礼

鳥取市社会福祉協議会

金5万円也 市内川端1丁目21 信一殿  
金1万円也 市内二階町1丁目52 太郎殿  
金1万円也 市内中町 山家一太郎殿  
金1万円也 市内茶町410 草野安七殿  
金5万円也 市内戎町 米沢朝吉殿  
金1万円也 市内吉成 中朝吉殿  
これは、いづれも叙勲受賞にあたり、感謝申し上げます。  
金2万円也 市内西町5丁目158 俊吉殿  
金3千円也 市内内行徳 鹿島根 政政殿  
金1万円也 市内内片原5丁目224 丹羽 正殿  
金1万円也 市内内旗原 徳田 忠治殿  
金5千円也 市内内湖山町245 杉田 久夫殿  
金3万円也 市内内西町1丁目223 細田喜三郎殿  
金8千円也 市内内桂木 前田南条 哲陽殿  
金3万円也 市内内東品治町189 南条 善治殿  
金2万円也 市内内竹生76 香典返として、市の社会福祉事業にご寄附くださいました。つつしんで感謝申し上げます。  
善意銀行だより

○鉛筆23ダース (預託) 城北高校奉仕の会 会長 田部 隆さん  
○現金3,000円、衣類200点 (預託) 婦人団体協議会 会長 房江さん  
○衣類200点 小谷 権次郎さんへ50点 秋里アパート 権次郎さんへ150点  
○理髪奉仕 (払出し) 市立敏生寮へ (鳥取理髪青年学級)  
○もちつき (払出し) 市立母子寮へ (鳥取子供学園) 市立敏生寮 (鳥取善意銀行)  
○慰問 (払出し) 鳥取子供学園へ 城北高校奉仕の会  
○手紙 (払出し) 鳥取子供学園へ 市役所 影井 秀明 木下 頼雄

# 成人式

とき 43年1月15日 午前10時  
ところ 鳥取市民会館 (大ホール)

なお、対象者には、申請状(案内状)を差しあげていますので、万一住所移動その他で案内状が届いていない場合は、市教委社会教育課(電話22811-321番)へご連絡ください。

# と と り 市 報

# 鳥取市の水道 現在と将来(一)

ひがあつた砂ばくの中で、水を求めて殺し合う人間の姿を映画のスクリーンにみかけますが、水はあらゆる生物が生きていくために欠かせない大切なものです。ところが、いつでもどこでも思う時に水が使えるところ、ついで、そのありがたさを忘れていきます。天然の水が殺菌されてきれいな水となり、ふんだんに使える飲用水となつて各家庭に送られる

むつかしい

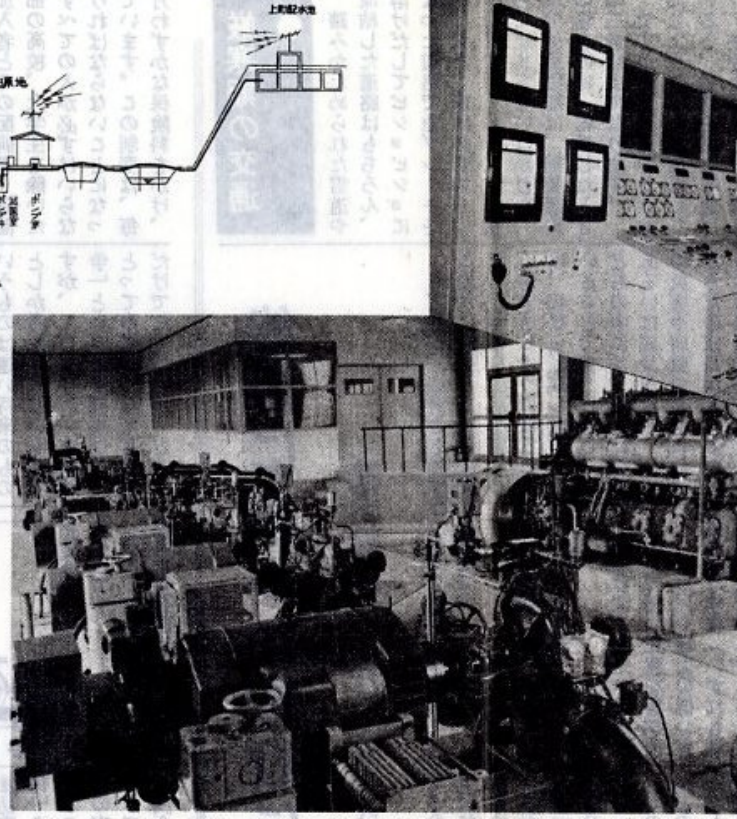
このため、市の責任において市民に「豊富で安い飲み水を提供しなればならない」という公共性と、その収益で事業を運営していかねばならないという企業性の、いわゆる公共性と企業性の二面を内包している

には、多くの人手というむつかしい問題があります。今回は、昨年十二月の定例市議会でもいろいろ論議され、市民みなさんの大きな関心事となつた水道の現状と将来(拡張計画)について紹介し、みんなで考えてみることにしました。

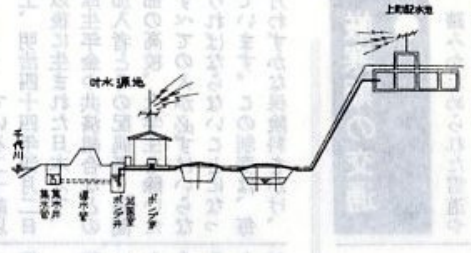
若がいりが必要な  
三つの水源

鳥取市の水道は、昭和九年の第一次拡張計画から、昭和三十八年の第五次四カ年計画にいたる拡張工事で水源の拡張、送配水管の整備を行ない、現在では給水人口九八、四五一人、一日最大配水量三八、二〇〇トン、一人一日最大約三八八リットルを給水できる施設となつています。

現在の水源は、美敷、叶、賀露の三カ所ですが、それぞれ異なる方式で取水し、送水しています。



ポンプ室 ここでは、千代川の伏流水を取水し殺菌したきれいな水を3台のポンプで上町の配水池へ、2台のポンプで鳥取駅附近一帯へ、さらに2台(予備1台)のポンプは、新市場へと配水しています。



一番古い池は、大正四年に完成されたが、その後送水量の増大にともなつて二回にわたり増設されております。それが造り、鉄筋コンクリート造り、トンネル式とあり、全貯水量は五千八百トンで、これを配水管で市内に送水しています。火災の場合には、消防からの連絡で、すぐ一時にたくさんのお水を必要とするなどの仕事もしております。

なお、叶水源池からは無機リン酸の送水管でたえず水が送り込まれています。

そのほか中の郷、津の井、横枕、越路などには、それぞれポンプ場があり、それぞれの配水池へポンプで揚水し、その地区をまわっています。

また、鑄鉄製の配水管は、市街地に網目のように布設されていますが、本市の配水管の一番太い管は三五〇mmで、延長は二七三mの長さとなり、鳥取から彦根までの距離となります。また、消防活動に必要な消火栓は千七百七十九カ所、制水弁は七百九十カ所、そのほか空気や泥抜き管などの設備も多くあります。



水道責任技術者(職工)の資格試験  
試験日 一月二十五日(木)  
受験の申し込みは一月二十日(土)までに水道局へ

古い歴史の水道  
鳥取市の水道は、歴史は古く、今から約三百年前に池田新太郎が改修計画し、以来十六年の歳月をかけ、戦前に備えて武家を対象に給水が行なわれてきました。これが鳥取市の水道の第一歩です。

しかし、当時多くの町民は、袋川の水を飲用水としており、非常に非衛生で、悪疫流行の危険も多く、また水汲みも大変な労働でした。

そこで一日も早く水道を完備し、生活用水の確保をはかろうと、明治四十年市議会が決定し、現在の国府町美敷地区に貯水池を完成し、大正四年十月、五万人を対象に給水を開始しました。これが鳥取市における近代的な水道の第一歩であり、全国的にも古い歴史の上水道だといわれています。

このように、三つの水源から各家庭へと送られる水の量は、一日平均二万九千五百トンですが、このうち有収率(水源地区からの送水量と実際に収入になっている水量との比率)は六割で、全国平均七〇、五割に比べるとこのほどは漏水によるものです。

ところで、この漏水の原因は、人力車が走っていたころのころは、管の埋設が浅いこと、管が老朽したこと、が大きい原因であり、さらに昭和十八年の鳥取大震災、二十七年の鳥取大火などによる地盤の変動、道路工事などによる管の損傷です。

水道局では、収入にならない水を少なくするための漏水対策に真剣に取り組んでいます。

鳥取大震災・火災が大きな痛手の漏水  
しかし、漏水も地上にふき出しては割合容易に処置できませんが、近年、とくに道路舗装技術の進歩で、そのほとんどが地上にあられず、地下に浸透しており、このような場合漏水力を探すには、深夜雑音が少ないのを待って、鉄管探知器や漏水発見器などを使わなければならない、非常に困難な作業となっています。

なお、地上に出る漏水力は全国的にも都市化が進み、どこでも水不足に悩んでいます。鳥取市も市街地の膨張、農村地域の急速な都市化には目を見張るものがあります。

四十三年度から可能になる水洗便所化による使用水量の増大、企業の振興にともなう人口の社会増、あるいは自然増、住宅団地の造成にともなう市街地の膨張……など。

このため現在の施設のままで、将来の水道行政がま痺することは目に見えてあきらかです。

したがって、遠い先の見通しをたて、どんなことがあっても水を不足を起さないために、水の確保には万全の対策が必要となります。

そこで計画されたのが第六次拡張事業計画で、これには総事業費五億八千五百万円をかけ、四十三年度から五カ年の継続事業(43年度三千八百万円、44年度一億四千三百万円、45年度一億七千六百万円、46年度一億四千万円、47年度八千八百万円)



水がほしい  
成長期の鳥取市に  
職員の調査及び市民の方々からの連絡で順次復旧にあたり、一度に多くの復旧も困難となつてお許しください。万が一漏水しているところをお気づきになりましたら、水道局までご連絡ください。よろしくお願いいたします。

